



マツダ プレマシー ニッサン ラフェスタ

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0733

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。
事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせて頂きますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸び
シワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させて頂きます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせて頂きます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。
また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製糸を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）
その部分は他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やシーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じことがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッソ・アルカンターラセレクション)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされますと、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。
その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないよう製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。

その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属しておりません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



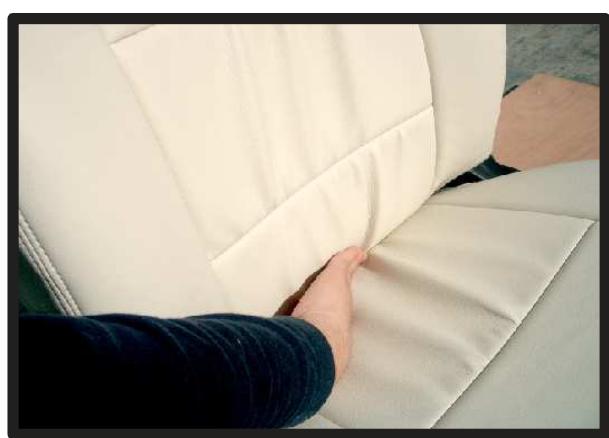
②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



③シートカバーをしっかりと入れ込むことができたら、ビニールを引っ張り取り外します。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のひびを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間にに入れ込みます。

(車種により取付方法が異なります。)



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することができます。



①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがズれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1列目座面



①座面カバーをシートのラインに合わせて置きます。



④入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。



②ラインがずれないよう気を付けながら、シート全体にかぶせます。



⑤カバーのラインがずれていない事を確認したのち、カバーの側面の生地を、図のようにヘラ等を使用し、シートのプラスチック部分の隙間にに入れ込みます。



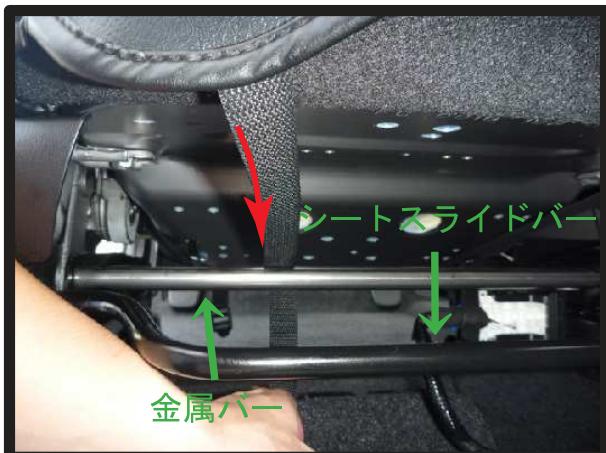
③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥シート内側面も⑤と同様に入れ込みます。



⑦カバー前部に付いているベルトを、シートの下側を通し、後ろ側へ引き出します。



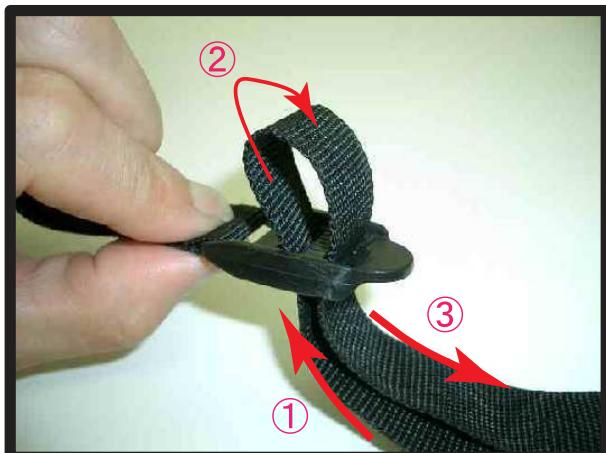
⑧ベルトをシート下側へ通す際は、図のようにシートスライドバーと金属バー（運転席のみ）の上側を通すようにします。



⑨シート下側を通したベルトを、後ろ側へ引き出します。



⑩④で引き出した生地に付いているバックルにベルトを固定します。



⑪ベルトの固定方法は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締まり固定されます。
※強く引き過ぎるとベルトが切れる恐れがありますので、ご注意下さい。



⑫カバーのラインを整え、1列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けて下さい。

1列目背もたれ

背もたれカバーの装着には、アームレストの取り外しが必要です



- ①始めに、背もたれからアームレストを取り外します。
図のようにアームレストのファスナーを矢印方向に開きます。



- ②ファスナーを開くと、中にボルトが見えますので、ラチェット等を使用し、ボルトを外します。



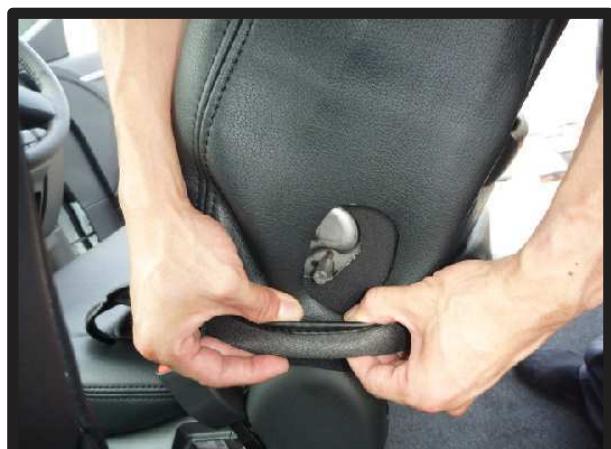
- ③ボルトを外すと、アームレストが取り外せます。



- ④背もたれカバーを半分ほど裏返した状態で、シートにかぶせます。
この際、カバーを肩口までしっかりと入れ込んで下さい。



- ⑤カバーを左右均等に引き下げていきます。



- ⑥アームレスト取り付け位置は、カバーの加工穴から取り出します。



⑦カバーを全体にかぶせた状態です。



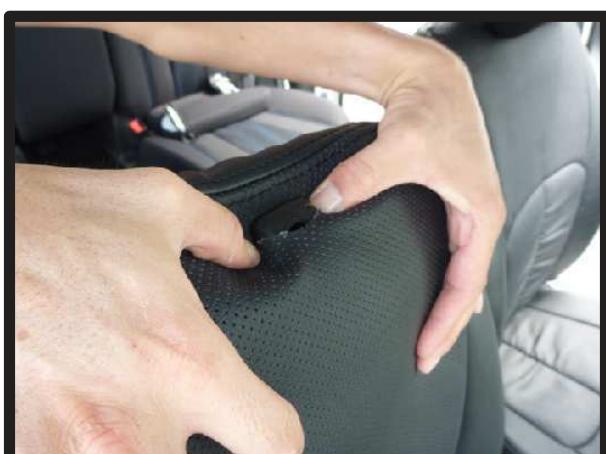
⑩ヘッドレスト台座部分はこのようになります。



⑧背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑪①カバーのラインを整えながら、生地のたるみを無くし、②側面の生地のたるみを中央へ寄せ、③たるみの出た生地を背もたれと座面の隙間に入れ込み、カバーを馴染ませます。



⑨ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地の伸びを利用して横から潜り込ませるように取り出します。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑫入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。

1列目背もたれ続き



⑬4ページの⑫で引き出した生地と、
背もたれ背面の生地をマジックテー
プで固定します。



⑭背もたれ背面に付いているゴムに、
付属のS字フックを取り付けます。
S字フックを座面下の適当な場所に
固定すると、このようになります。

※図は別車種です



⑮カバーのラインを整え、1列目背も
たれの完成です。
助手席側も同様に取り付けて下さい。

2列目座面



①座面カバーをシートの前側に引っ掛
けるようにして、矢印方向にかぶせ
ます。



②座面を跳ね上げ、側面のシワを無く
すよう矢印方向にカバーを引っ張り
ラインを整えます。



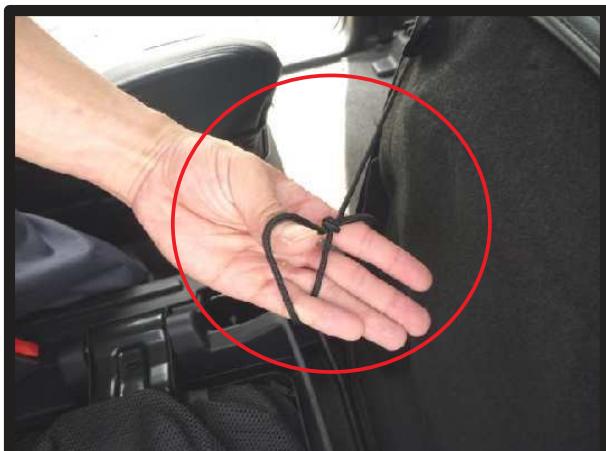
③シート跳ね上げ時に引っ張るストラ
ップ（○部）をカバーの加工穴から
取り出します。



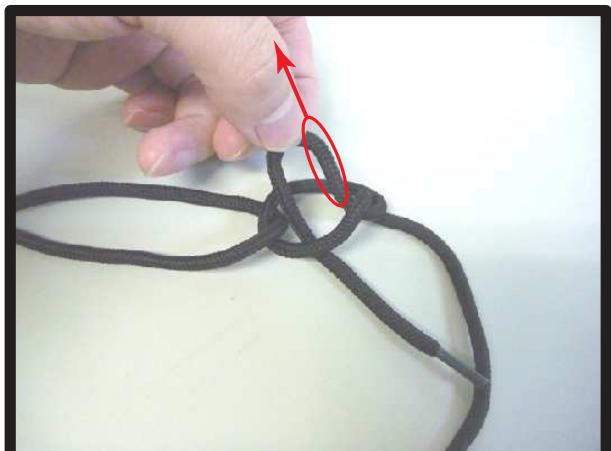
④カバー後方に付いているマジックテープをシートに直接固定します。



⑦ヒモの結び方は、引き絞ったヒモを図のように輪状にし、矢印部分をつまむようにして輪に通します。



⑤カバー両側面に付いているヒモの一方で、図のような輪を作ります。



⑧通したヒモの○側を引っ張ると、ヒモが結ばれます。
※ヒモの先端側を引っ張ると、ヒモは結ばれません。



⑥⑤で作った輪に、もう一方のヒモを通して、左右に引き絞り結び留めます。
※ヒモを強く引っ張りすぎると切れる
恐れがありますのでご注意下さい。

- 6 -



⑨正しくヒモを結び留めると、このようになります。
この状態でヒモの先端側を引っ張ると、ヒモが簡単にほどける結び方になります。

2列目座面続き



⑩余ったヒモは、図のように6ページの④で取り付けたカバーとシートの隙間に入れ込みます。



⑪カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けて下さい。

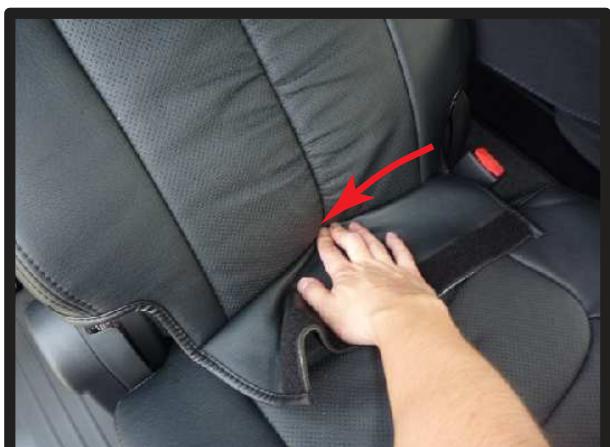
2列目背もたれ



①3ページの①～③と同様に、2列目アームレストを取り外し、背もたれカバーを半分ほど裏返した状態で、シートにかぶせます。



②アームレスト取り付け部分は、カバーの加工穴から取り出します。
カバーを全体にかぶせ、1列目と同様に、ヘッドレストの台座を取り出します。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



④入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑦助手席側は、背もたれカバーをかぶせる際に、アームレスト（中央）をかわすようにし、図のように生地同士をマジックテープで固定します。



⑤引き出した生地と、背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



⑥カバーのラインを整え、2列目背もたれの完成です。

助手席側も一部形状が異なりますが
同様に取り付けます。

2列目補助席座面



①SCのタグが付いたカバーをシートのラインに合わせ、前側からかぶせます。



④シートを格納（裏返した）状態にし
②で巻き込んだ生地をマジックテー
プでシートに直接固定します。



②カバー後ろ側の生地をシート下に巻
き込むようにかぶせます。
※図は、作業がしやすいようにシート
を跳ね上げています。



⑤カバー前側の生地もしっかりと固定し
ます。



③シワが入らないよう、カバー側面の
生地を馴染ませながら、カバーに付
いているマジックテープでシートに
直接固定します。



⑥カバーのラインを整え、2列目補助
席座面の完成です。

2列目補助席背もたれ



①SBのタグが付いたカバーを半分ほど裏返した状態で、シートにかぶせていきます。



④カバー側面のファスナーを生地を内に寄せながら閉じます。



②カバーの加工穴からストラップを取り出します。



⑤生地同士をマジックテープで固定します。



③シートの下側に引っ掛けるように、カバーをかぶせます。

※図は、作業がしやすいようにシートを跳ね上げています。



⑥1列目背もたれと同様に、ヘッドレストの台座を取り出し、カバーのラインを整え、2列目補助席背もたれの完成です。

3列目座面



①始めにシートベルトのバックル部とシートを固定しているゴムバンドを抜き取ります。
※カバー装着後は、このゴムバンドは使用しません。



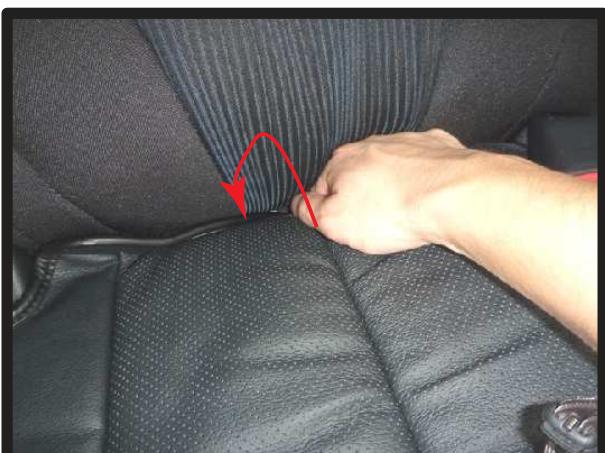
②座面カバーをシートのラインに合わせ、前側からかぶせていきます。



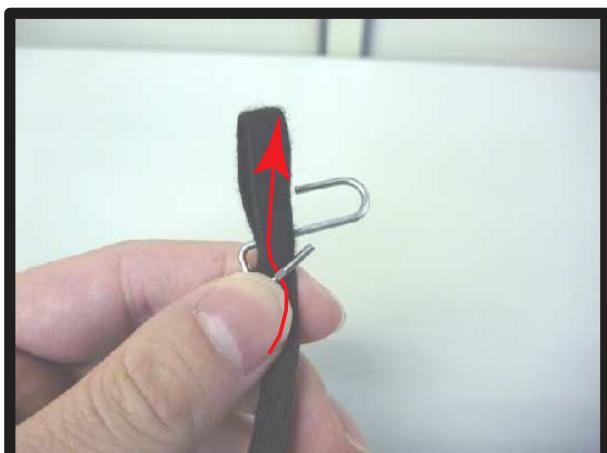
④カバーに付いているゴムバンドに、①で外したシートベルトのバックル部を通します。



⑤カバー両側面に付いているゴム（4ヶ所）に、付属のS字フックを取り付けます。



③背もたれを手前に引き倒しながら、座面の隙間に生地を入れ込み、カバーに付いているマジックテープでシートに直接固定します。



⑥ゴムとS字フックの取り付け方は、始めに図のようにS字フックにゴムを通します。



⑦通したゴムを、図の赤線のようにしてS字フックにかぶせます。



⑩カバー前側に付いているマジックテープベルトは、シート下側の金属バーに巻きつけ固定します。



⑧かぶせたゴムを引き絞る事で、図のようにS字フックがゴムに固定されます。



⑪カバーのライン整え、3列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けて下さい。



⑨カバー側面の固定は、ゴムに取り付けたS字フックをシート下側の金属部分に引っ掛けます。

3列目背もたれ

背もたれカバーの装着には、背面のカーゴネットフックを取り外す必要があります



①始めに、シート背面のカーゴネットフックを取り外します。
図のように、ヘラ等の先の細いものを使用し、カーゴネットフックのプラスチック部を起こします。



②プラスチック部を起こすと、中にボルトがありますので、ラチェット等を使用し、ボルトを外します。



③ボルトを外すと、カーゴネットフックと台座が取り外せます。



④背もたれカバーを半分ほど裏返した状態で、シートにかぶせます。
1列目と同様に、ヘッドレストの台座をカバーから取り出します。



⑤カバー背面の加工穴からシートリクライニング用ストラップを取り出します。



⑥カバー背面の生地に付いているマジックテープをシートに直接固定します。

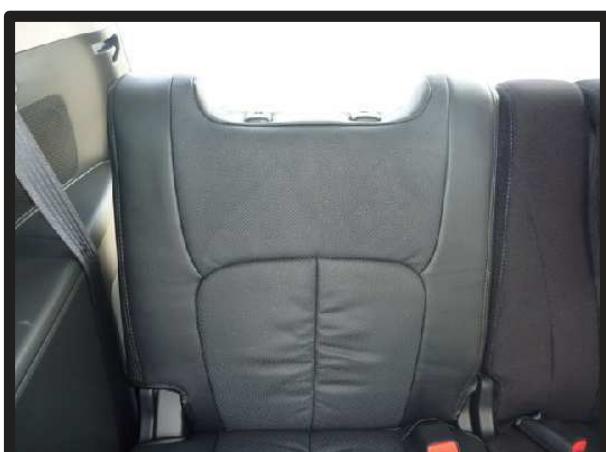
ヘッドレスト



⑦背もたれを手前に引き倒しながら、
背もたれの隙間に生地を入れ込み、
カバーに付いているマジックテープ
でシートに直接固定します。



⑧①～③で外したカーゴネットフック
を外した逆の手順で元に戻します。



⑨カバーのラインを整え、3列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けて下さい。



①ヘッドレストのカバーを半分ほど裏返した状態で、1列目ヘッドレストのラインに合わせかぶせます。



②ラインがずれないように、左右均等にカバーを引き下げます。

※ヘッドレストの角部分のカバーは、
引っ張り過ぎると破れる恐れがありますので慎重にかぶせて下さい。



③カバーをかぶせ、ラインを整えます。

ヘッドレスト続き



④シートからヘッドレストを取り外し
ヘッドレスト裏でプラスチックフックで固定します。



⑦正しくプラスチックフックが固定されると、カバーの継ぎ目が図のようになります。



⑤プラスチックフックの固定方法は、
カギ状のプラスチックに平らな方の
プラスチックを生地ごと巻き込むよ
うにはめ込み固定します。



⑧間違った固定をすると、カバーの継
ぎ目に、図のように平らなプラスチ
ックの縫製糸が見えています。



⑥間違った固定方法です。
平らなプラスチックのみをカギ状の
プラスチックに引っ掛けるだけでは
しっかり固定出来ません。



⑨ヘッドレストを元に戻し、1列目ヘ
ッドレストの完成です。



⑩2列目ヘッドレストは、カバーを前側に引っ掛けるようにし、後ろ側へかぶせます。



⑪3列目ヘッドレストカバーに付いているゴムを、図のようにヘッドレストにくぐらせながらカバーをかぶせます。



⑫ヘッドレスト後ろ側の角部分を無理にかぶせようするとカバーが破れる恐れがありますので、図の矢印方向にヘッドレストを押しつぶすようにながらカバーをかぶせて下さい。



⑬カバーを矢印方向にかぶせていきます。



⑭1列目と同様にプラスチックフックでカバーを固定し、2列目ヘッドレストの完成です。

2列目中央ヘッドレストも同様に取り付けます。



⑮ヘッドレスト後ろ側には、生地が届きにくいですので、前側の生地を後ろ側に持ってくるようにしながらかぶせます。

ヘッドレスト続き

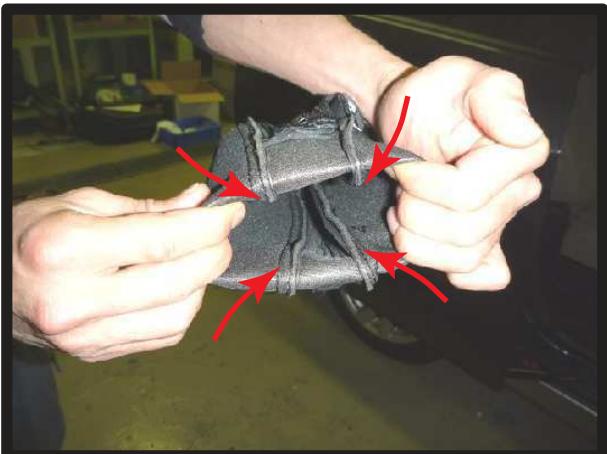


⑯カバーをかぶせた状態です。



⑰1列目と同様にプラスチックフックでカバーを固定し、3列目ヘッドレストの完成です。

アームレスト



①アームレストのカバーは、半分ほど裏返し、中の縫い代を図のように一定方向に揃える事で綺麗に取り付け事が出来ます。



②取り外したアームレストにカバーをかぶせます。
この際、先端までしっかりと入れ込むようにして下さい。



③アームレスト内側面（取り付け側）のみ、カバーをかぶせます。
外側面は、アームレストを背もたれに取り付けるまでカバーをかぶせないで下さい。



④アームレストを背もたれに取り付け
ボルトで固定します。



⑦1列目アームレストの完成です。



⑤アームレスト本体のファスナーを閉じます。



⑧2列目アームレストは、少し形状が
違いますが、同様に取り付けます。



⑥カバーのファスナーを閉じます。

完成図

※カバー装着後は、各シートが正常に作動するか確認して下さい



① 1列目



④ 2列目

補助席格納 & 3列目ウォークスルー時



② 2列目
補助席使用時



⑤ 3列目



③ 2列目
補助席アームレスト使用時



⑥ 3列目
格納時



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1** 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッソ キルティングタイプ・プロス クラッソ
プロスクラッソ タイプ2は対象外です。



- 2** シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3** シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メーター単位での販売となります)
クラッソ キルティングタイプは対象外です。

パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッソイオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。



● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。

本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。





SEAT COVER

クラッツィオ商品について詳しくは、ホームページをご覧ください。

www.11i.co.jp



「快適カーライフ空間創造企業」



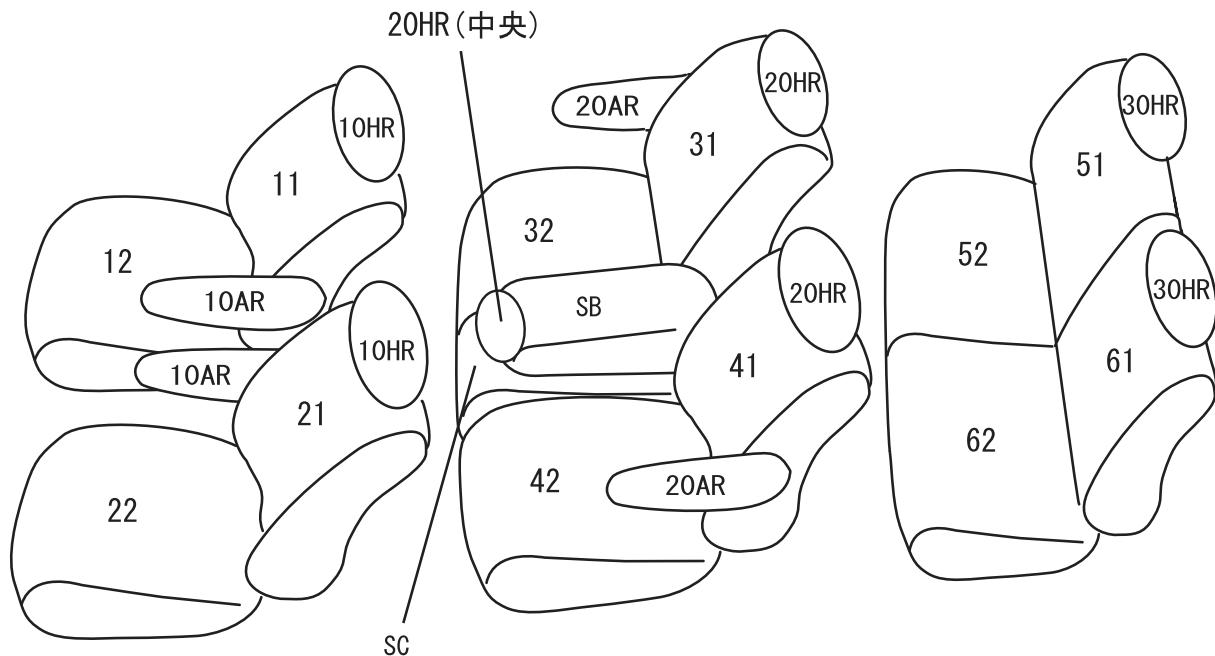
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

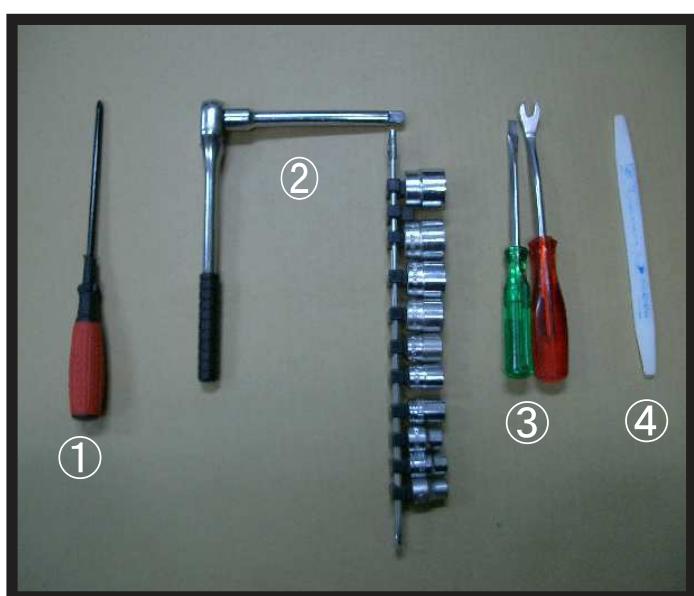
TEL 072-330-8000

FAX.072-330-8816

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①+ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ

*この車種では、②の工具を使用します。

*この車種では、①と③の工具は使用しません。